



3週連続で大学学園祭へ参加

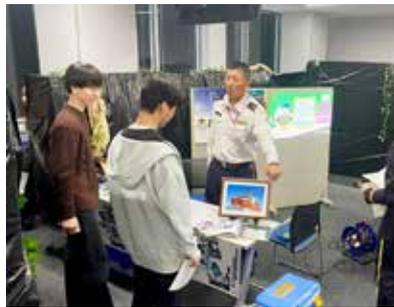
自衛隊東京地方協力本部足立地域事務所（所長 辻本2陸尉）は10月下旬から11月初旬にかけて3週連続で足立区内にある大学の学園祭に参加した。

本事業の経緯は、昨年度、足立地域事務所が担当する帝京科学大学の学生との接点を発端として、学園祭実行委員との交流につなげ、同大学の学園祭（桜科祭）へ募集広報ブースを出展することができたことをモデルケースとし、今年度は担当地域内の他の大学の学園祭にも募集広報ブースを出展しようという目標を立て、担当地域の大学生に対して部隊見学やヘリの体験搭乗などのイベントを活用しつつ関係を構築し、東京電機大学及び文教大学の学園祭への参加を達成することができたものである。その結果、10月第4週の帝京科学大学（桜科祭）を皮切りとして、11月第1週には東京電機大学（旭祭）、11月第2週には文教大学（華又祭）と、3週連続で学園祭に募集広報ブースの出展をすることができた。

各日の自衛隊募集広報ブースにて、帝京科学大学では会場入り口において第1普通科連隊から支援を受けた軽装甲機動車を展示したり、東京電機大学では迷路内にブースを開設したり、文教大学では構内のダンス大会会場においてトウチ君による広報を実施する等各大学でそれぞれ特徴のある出展をすることができた。

足立地域事務所は、今後も各大学と関係を構築し文化祭等の場を活用した広報活動を実施して、より多くの学生に自衛隊の魅力を伝えていくとしている。

足立地域事務所は、今後も各大学と関係を構築し文化祭等の場を活用した広報活動を実施して、より多くの学生に自衛隊の魅力を伝えていくとしている。



テーマは「謳華」 立正大学で自衛隊をPR

自衛隊東京地方協力本部五反田募集案内所（所長 野澤2陸尉）は、11月2日及び3日、立正大学品川キャンパスにおいて開催された第59回橘花祭に同校戦史研究会の協力のもと合同出展し、本大学祭に初めて参加した。

今年度の橘花祭テーマは「謳華」。このテーマは「謳歌」と「桜華」をかけた造語で、大学祭を学生が一丸となって作り出し、青春を謳歌できる場の一つとし、学生の手によって更なる繁栄の想いがこのテーマには込められている。

当日は、同校戦史研究会による戦史関連資料や世界各国の軍装品等の展示がなされ、中には貴重な展示品もあり、来場者の興味を引いていた。一方、五反田所による広報ブースでは制服試着、VR体験、ロープワーク、東京地本がSNSで発信し話題を呼んでいるライフハックを放映し実際に体験してもらうなど多彩な企画により終始活況を呈し、来場された方々の更なる興味・関心を醸成させることができた。

来場者からは、「VRがとてもリアルですごく迫力があつた。」「この場に自衛官がいるのに驚いた、フレンドリーな対応に親近感がわいた。」「ライフハックがとても参考になり、家で試してみたい。」などの感想が聞かれた。

五反田募集案内所は、今後もこのような機会を通じて、多くの方々に自衛隊をより身近に感じてもらうい、防衛省・自衛隊の活動に対する理解と関心を高めて、自衛官募集業務に繋げていくとしている。

